

# いわき市中小企業・小規模企業振興会議 議事録

## 1 会議概要

(1) 開催日時 令和2年8月5日(水) 15:00～16:00

(2) 開催場所 いわき産業創造館 会議室1

(3) 出席者(順不同・敬称略)

○ いわき市中小企業・小規模企業振興会議委員(12名中11名出席) (順不同、敬称略)

区分	所属等	職氏名等		出欠
中小企業・ 小規模企業	福島県中小企業家 同友会いわき地区	副会長	丹野 勇雄	出席
	いわき経済同友会	幹事	佐久間 一枝	(欠席)
大企業	いわき商工会議所	市内大手企業復旧・復興懇談会	佐藤 博史	出席
中小企業 団体等		事業理事・中小企業振興部長 (兼)中小企業相談所長		
	いわき地区商工会 広域連絡協議会	主任主査	川島 秀一	出席
	いわき産学官 ネットワーク協会	インキュベーションマネージャー	奥瀬 円	出席
	支援関連等専門家	NPO 法人 TATAKIAGE JAPAN 理事長	小野寺 孝晃	出席
		税理士	木幡 仁一	出席
		マーケティングアドバイザー	橘 あすか	出席
金融機関	日本政策金融公庫	いわき支店長	奥田 智則	出席
	ひまわり信用金庫	常勤理事兼営業推進部長	児玉 武彦	出席
	いわき信用組合	専務理事	本多 洋八	出席
関係行政機関	いわき市	産業振興部長	小松 尚人	出席

○ オブザーバー(1名)

所属等	氏名等	
福島県中小企業家同友会	いわき事務所長	阿部 雄飛

○ 事務局(7名)

所属等	氏名等	
産業振興部	次長兼総合調整担当	中澤 秀夫
産業創出課	課長	大平 賢一
	主幹兼課長補佐	富田 稔
	係長	山下 大輔
	主査	戸部 洋一
	主事	森田 翔平
商業労政課	課長	佐藤 浩伯

(4) 次第

① 開会

② 協議事項

(1) 緊急経済対策について

(2) 「企業・ひと・技」応援ファンド事業について

(3) 次世代経営者塾について

③ その他

④ 閉会

## 2 内容等

事務局より、いわき市の新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策、「企業・ひと・技」応援ファンド事業及び次世代経営者塾について説明し、各委員間での意見交換を行った。

なお、委員間での意見交換の概要は次のとおり。

### 【緊急経済対策に関する意見交換】

#### A 委員

- ・国・県・市と様々な補助金等があるが、多くの事業者が利用している。
- ・市の店舗等維持支援金にも多くの事業者が申請しており、大変助かっている。

#### B 委員

- ・国県市の様々な制度を活用しているが、受け手側からすると制度を把握しれない状況が多いので、分かりやすい説明をするように努めている。
- ・令和元年度東日本台風からの復興半ばでコロナの影響を受けている事業者が多いので、今後は財務改善・体質改善といった支援が出てくるのではないかと。

#### C 委員

- ・全体的に手厚い支援だと感じている。
- ・店舗等維持支援金について、いわき市だけが対象者を市内在住者に限定しているため、ここは他市の状況を踏まえて対象を広げてほしい。

#### D 委員

- ・相談に来た事業者に対しては、市の広報や商工団体の窓口を紹介していた。

#### E 委員

- ・全体としては選択肢の多い制度となっており、大変助かっている。
- ・あんしんコロナお知らせシステムについて、もともとは事業者案内していなかったが、消毒費用の補助があるので、今は保険のためにも登録を推奨している。
- ・あんしんコロナお知らせシステムの対象となる業種を分かりやすくしたほうが良い。

#### F 委員

- ・自社も店舗等維持支援金を活用した。
- ・店舗等維持支援金について、制度を知らない事業者もいたため、今後は若手事業者の連携が重要になってくると思う。

#### G 委員

- ・国・県・市の手厚い支援制度により、当面の資金繰りは一巡していると言えそうだが、新型コロナウイルス感染症が長期化しているため、今後の資金繰りへの危惧がある。
- ・ウィズコロナやアフターコロナの時代、関係機関との連携を深めたいと、事業者支援に注力していきたい。

## H 委員

- ・コロナの長期化は避けられないため、早く薬が市場に出回るのを願うばかりだ。
- ・金融支援が問題の先送りにならないように、その後の支援にも努めていきたい。
- ・市の支援制度についても今後は柔軟な変革が必要となるのではないかな。

## I 委員

- ・国の金融支援の状況として、1500 件ほどの相談を受け、1300 件ほどの融資の実行が行われている。
- ・コロナの長期化に伴い、据置を半年としていたり、運転資金や設備資金の貯えを短期間で想定していた事業者が 2 巡目の相談に訪れていることもあって、再び融資相談件数が増え始めている。
- ・テイクアウト等で売上が増加している事業者なども実際に存在している。

## J 委員

- ・緊急経済対策について、県内ではいわき市にいち早くマル経利子補給、信用保証料補助の対応をしてもらったことで、足元の動きが良かったと受け止めている。
- ・非常事態宣言が出されたピーク時には、1 週間当たり約 300 件の相談件数だったが、直近では約 150 件の相談件数となって。
- ・各種給付金・補助金は、手持ち資金を増やす前提ですべて利用することを推奨しており、それでも足りなければ、マル経融資の利用を勧めていることによって、今は各社とも持ちこたえている状況だ。
- ・経済活動を止めている分その保証が必要ということで、給付金などの問い合わせが多かった。
- ・当機関としては、ダメージの大きい大型小売店のテナント向けに国・県・市の施策制度説明会を開催し、政策パッケージとして説明した。
- ・コロナ第 2 波のなか、国の雇用調整助成金が当初 9 月末終了予定だったが、12 月まで延長される見込みなので、一安心という状況である。
- ・今後も企業動向は当機関でも個別訪問を強化しているところであり、業種別・各社の動きは注視していく。

## K 委員

- ・見せ方・伝え方に関する部分は行政の苦手分野なので、工夫できる部分は検討していきたい。
- ・これまでの緊急経済対策の方針として、国や県の対応で不十分な部分について、スピード感を持って取り組んできたつもりだ。
- ・感染拡大防止策と経済活動の両立やその先を考えていかなければならない中、あんしんコロナお知らせシステムは今後も活用していくべき制度だと考えている。
- ・現在第 2 波と呼ばれる状況の中、今後の状況を見極めながら、市としても柔軟な対応をしていきたい。

## 【「企業・ひと・技応援ファンド」に関する意見交換】

### G 委員

- ・市内の志ある若い経営者が一生懸命に事業承継に取り組んでいる姿を広く伝え、今後も共感を集めていきたい。
- ・皆で「いわきゆかり」の方へ発信していきたい。

#### D 委員

・クラウドファンディングの打ち出し方として、創業・承継は良い切り口であり、一緒に連携して新しい経営者をサポートしていきたい。

#### F 委員

- ・古くから雇用と納税を守っている老舗企業は地域に必要な企業であり、こうした企業を支援することも大事である。
- ・一方で、若手の事業者も守っていく必要がある。
- ・コロナの影響が長引くことが想定される中、今後の廃業増が見込まれる。
- ・いわきでは異業種間連携はできている方だと感じているが、より地域で連携し、1つのチームとして支援していく形態が必要なのではないか。

### 【次世代経営者塾に関する意見交換】

(事務局の説明のみ)